

## NY・WOOD STOCKからの伝言

メツセージ

art ● interview

■30周年記念  
アート・インタビュー

# アンソニー・クラウスの魂



ニューヨークのウッドストックに住む気鋭のアーチスト、アンソニー・クラウス氏が、居留地のノザワビル1Fに開廊した「TOYAMAYA」のオープニングに、1月3日～31日まで「CITYSCAPES」(都会の景色)をテーマに個展を開催。彼は、IBMや、メルセデスベンツなどの国際企業のコーポレート・アイデンティティ・アートも手掛ける企業イメージ・アーチスト。

旧居留地時代のノザワ15番館の改築壁面も、木、プラスチックなどを使った立体作品を掛けイメージアップを計った。ニューヨーカーのA・クラウス氏にインタビュー。

——色調の美しさと立体的、造形的で面白いですね。  
「木とか水彩とか異った素材の出会いを使って、斜めの線を配して躍動感を生みだすところがねらいです。斜めというのはムーブメント、動きを与えて生き生きとした感じを与える。人間という一つの有機的な日常的な生活と対立する、ハイテクや機械文明との対称を表現するといつた意味もあります」

——斜めに対して丸を使っているのは地球ですか?

「丸というのは冥想的な無限性を現わします。そこに斜めの線によって、現代性やモダンな感覚を現わす。この冥想の中で急に現代に入つて、リアリティに目覚めると、いうような組み合せで、現代生活は、そういう両極であるといたいのです。最初は平面で二次元的なところから

スタートしましたが、錯覚によって三次元に見せるという手法を取るようになりました」

——企業のイメージアーチストを目指しているそうです

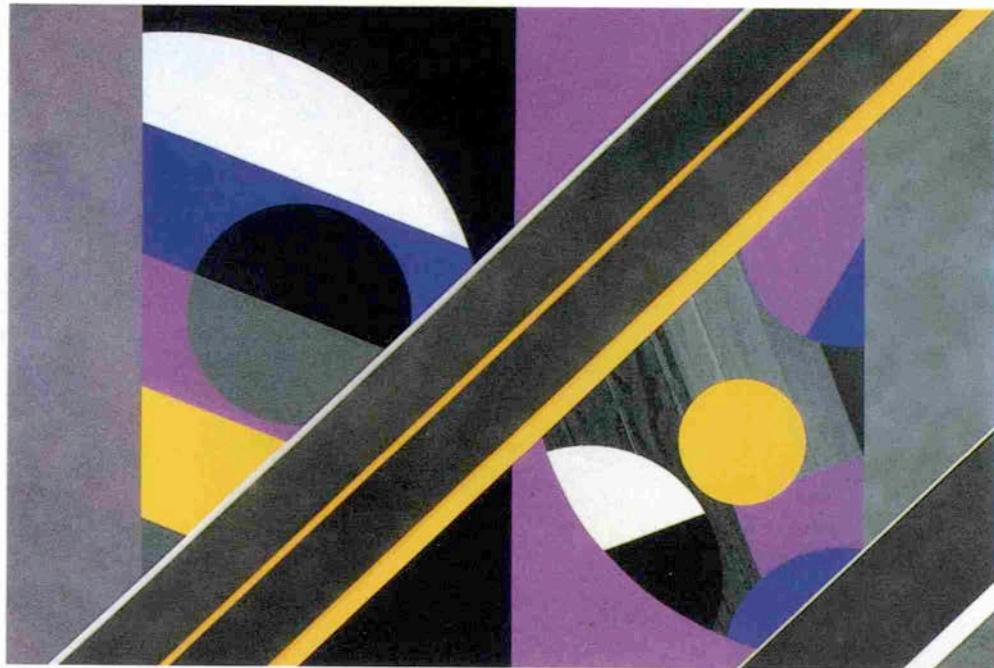
が。

「IBMの企業のイメージ雑誌に私の作品を使つてもらつたり、企業の製品を取り入れて作品を創ることもあります。ノザワ15番館の外に飾つてあるのも、木とプラスチックで、日本を木、西洋をプラスチックで表現し、西洋と日本の結合と調和を計つていています」

——ニューヨークのTOYAMAYAのギャラリーでは

「最初ニューヨークで8月に開いて、オーナーの稻岡さんが大変気に入つて下さつて、12月に六甲店でフォトスクラップチャードだけの個展をやりました。昨年の4月に東京へ初めて来ましたが、ニューヨークのよくな感じですね。神戸は感じも穏やかで、ボストンのような雰囲気で落ちときますね。食べ物も美味しいし女人も美しい(笑)」

——日本とクラウスさんの感性がフィットしたんですね。  
「日本の禅や、竜安寺の石庭のアートや、茶道などにとても興味があります。日本文化に深い関心を持っていたので、前世が日本人であつたような気がします。(笑) 神戸の方々の親切さに心から感謝しています」とまだ独身のA・クラウス氏は、心優しい都会派のアーチストだった。



FROM WOODSTOCK, NEW YORK ANTHONY KRAUSS

*Anthony Krauss*



●旧居留地ノザビル1F TOYAMAYA ギャラリーで

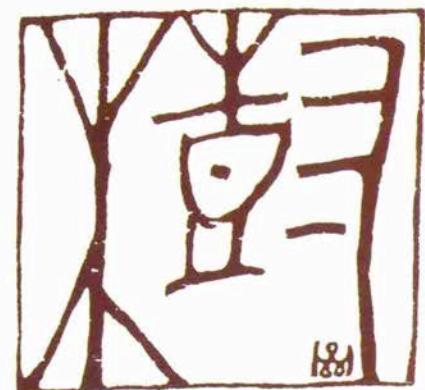


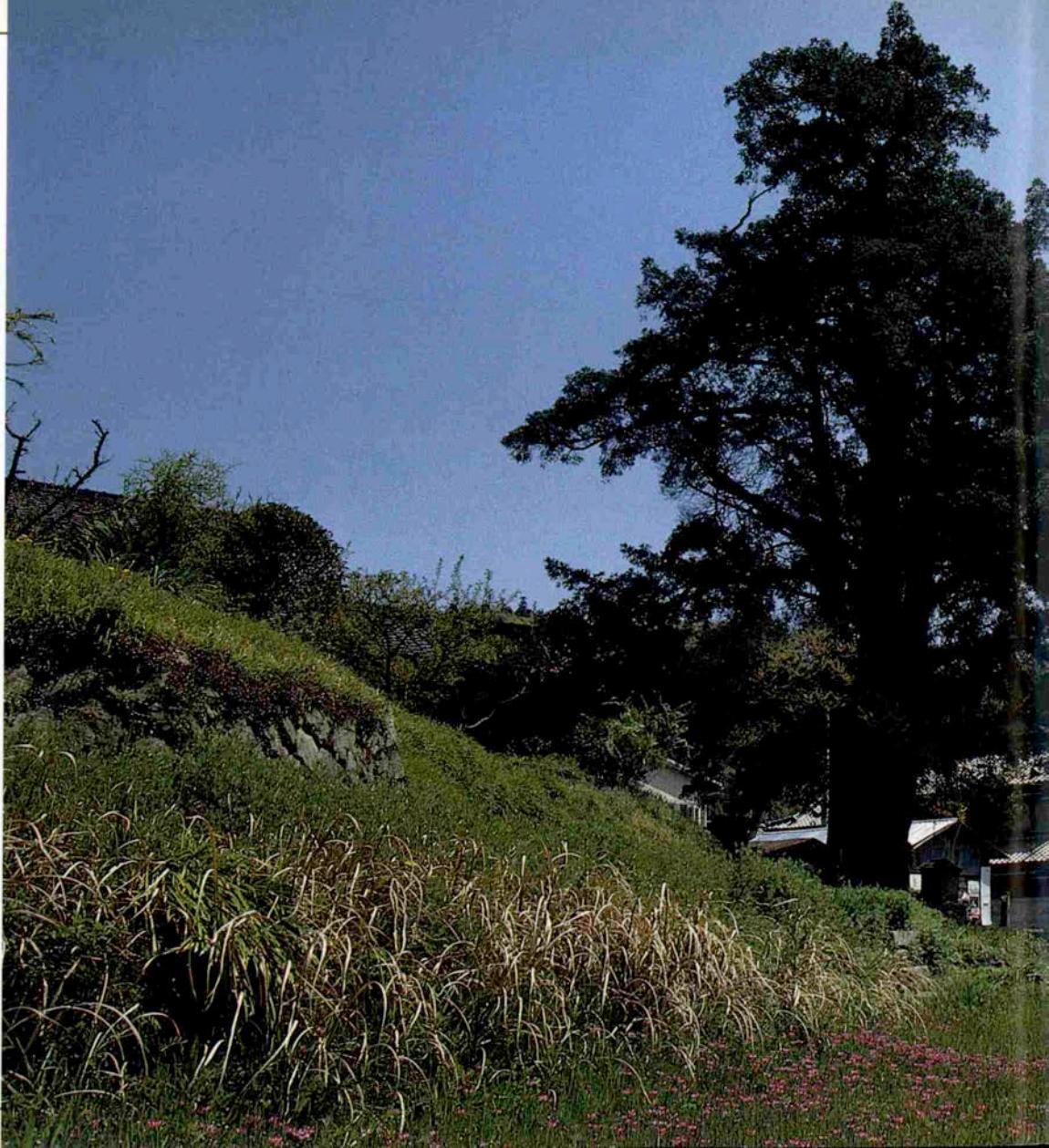
Photo Masao Kobayashi

# 神戸の名木

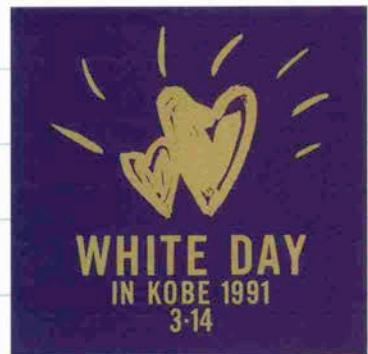
白川堂東の石抱きかや

所在地——須磨区白川字堂東  
□神姫バス白川北東六〇〇m

根が石塔を抱き込んでるのでこの名で  
呼ばれている。石塔は室町末期のもの。  
土地の人は“神木”としてあがめている。  
樹齢四〇〇年



愛にこだえてハッピーエンド。



純愛や親愛の気持ちをいっぱいにくれた彼女たちに正々堂々と男らしくこたえる日。ご存知、ホワイト・デーがいよいよやってきました。愛の言葉には、愛の言葉で。プレゼントには、プレゼントで。伝えあって、贈りあって、ふたりがハッピーエンドになる3月14日です。



バラの香りに包まれて、お肌スベスベの美人が誕生。

●ローズリップス 花びらソープ・入浴剤(7包入)・ボディシャンプー・ジェルソープ・ボディウォッシュタオル……各1,000円  
5階コンフォートシーン "バス&シャワー"



デートの思い出、花のノートに綴ってください。

●アランハチソン  
ノートブック………1,200円  
レディス用フリーノート……1,800円  
マリークレール  
ボールペン………3,000円  
6階文房具売場



彼女の指を独占したい。これが男の本心です。

●クレージュ シルバーリング…9,800円  
ケース ……1,500円  
1階アクセサリー売場



DAIMARU KOBE  
電話(078)331-8121(水曜定休)

全館7時まで営業いたします。

# 3月14日(木)はホワイト・デーです。

## ホワイト・デー クイックギフトコーナー

●3月11日(月)・12日(火)

●7階催会場(最終日5時閉場)

女の子の気持ちにこたえるホワイト・デー  
がもうすぐ。でも男性って、ホントはプレゼ  
ント選び、恥ずかしいんですね。“ホワイト  
デークイックギフトコーナー”は、その名  
のとおり、お待たせしないでプレゼントを  
お包みする、というもの。チョコレートやアク  
セサリー、おさいふなどかわいい小物が  
ぎっしりです。

## ホワイト・デー ラッピング ア・ラ・カルト

●各階

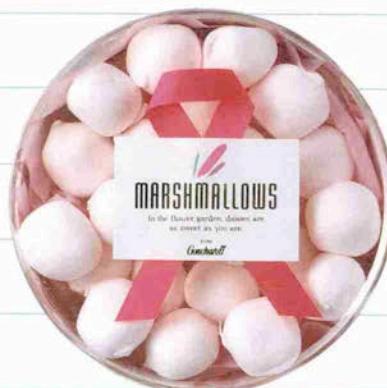
丸のオリジナル包装紙、袋、シール  
「遅くなつてごめんね」カードをつくりました。  
売場係員にお申しつけください。

<無料>

●6階ラッピングハウス

ことしのラッピングはリボンが決め手。  
ホワイト・デーの文字がはいったリボン  
かれいっぱいです。ピンクや白のペーパー  
にかわいく結んで、この日をめいっぱい  
アピールしましょ。

ラッピングペーパー ..... 200円から  
リボン(1m) ..... 80円から



愛のお返しは  
やっぱりマシュマロで。

●ゴンチャロフ  
マシュマロ...500円  
地1階 洋菓子売場



ウエストポーチに、ショルダーバッグに  
変身します。

●FROM KOBE ウエストポーチ 13,000円  
(パスポートサイズ)  
1階ハンドバッグ売場



スカーフも、ボックスも。おしゃれごころが光ってる。

●スカーフ...5,800円／ボックス...500円  
1階シーズンプラザ

# これが、神戸です。

●表示価格の3%を消費税として別途頂いたいたしました。

## ●にしむら珈琲文庫／ゲスト浅見敏彦さん

### 羊がとりもつ契 神戸税関長さんを迎えて

第62代目神戸税関長の浅見敏彦さんは神戸生まれ。初代伊藤博文から120年の歴史を持つ神戸税関は、兵庫県だけでなく中国地方四県、四国四県をも管轄エリアとしている。多忙に活躍される浅見さんはお迎えして楽しい午後のひとときのおしゃべり……。

川瀬 ご縁で不思議ですね。先日お店に来られた時も知らずにお声を掛けた事から、今日一緒にお食事できる事になりました。

浅見 それが母と子の契を結ぶ事に……。(笑)。

川瀬 豪華客船が話題になる華やかな時に、浅見さんのように素敵なお方が昨年7月から神戸の税関長さんに来て下さるなんてピッタリ。なんでも、3年間でアメリカの50州を回られたんですね?

浅見 モットーは「経験に投資」。目に見えないが身に付くものです。

川瀬 ですから、アメリカも在任中に仕事以外で、0才の息子達と50州を旅行、息子の足跡をも残して来ました。住んでいたテキサスでは「私の牧場は広いから端と端で季節が違う」なんてホラがある(笑)。アメリカは広大です。

川瀬 税関って大蔵省なんですね。貿易は通算省だし、恐い顔

で睨んでいると思えば警察のようですね(笑)。一種の関所で、税金を納めていただく所ですから。

川瀬 この北野店は18年前に開いた時から、代々神戸税関長さんが会員に入会して下さっているんです。官舎がトアロードに在つて近くですからね。

浅見 お客様をこ案内するのに、プレステイージアスな所だからですよ。神戸は日本一が沢山あります。日本一の珈琲のお店ですね。菊正宗の加納さんが「宮水に対する規制がありますが、にしむら珈琲さんは規制が出来るずっと以前からのお付き合いですか」とおっしゃっておられました。

川瀬 この間、宮水審議会で宮水のお酒以外の利用は厳禁、ただしおつしやつておられました。おつしやつておられました。下さって、大変嬉しかったです。宮水を使う事は、昔子供とキヤンブで六甲山に行きお水がおいしかった事にヒントを得たのです。

川瀬 長年の実績でお墨付きが出たのですね。そして母の愛の宮水珈琲ですね。私も子供の頃遠足で行つた甲山などで清流を見て、こんなに奇麗な水だからおいしいのかなつて思つていました。

川瀬 出身地は「東海道メガロボ

リス」と言われているそうですが。浅見 神戸で生まれ、高校まで大阪で育ち、本籍は愛知、大学以降東京で昨年神戸に帰つて来ました。

川瀬 ですから私の故郷は「東海道巨帯都市」と言う訳です。神戸の街は山と海がマッチし、何より人間的で息づいています。それが神戸の晴らしさ。そして精神性。歴史と新しいものを調和させながら、お菓子の名前にもファッショனも日本を代表し、全国をリードするものがあります。

川瀬 でも、神戸って「一番」にはなりたがらないところもあるの。浅見 「さらつ」としていますね。ずっと「神戸らしく」あって欲しいですね。

川瀬 時々、東京でこのお店を開いたらつて言われるんです。でも神戸のこの坂に在るから生きて来るので、もの、つて言うんです。私の生まれは京都なんですが、もうすつかり神戸っ子に成り切つてしましました(笑)。

川瀬 京都、大阪、京都という全く違う個性を持つた大都市が隣接している。これは世界中搜しても他には無いです。個性を生かしながらプラスに向けて競走をしたらいいですね。

川瀬 僕も、川瀬のお母さんも羊パートイヤりが多いのですよ。3歳。今度はここで羊歳の会をしま



▲川瀬喜代子会長と淺見敏彦神戸税関長。

## シェ・ラ・メールにしむら

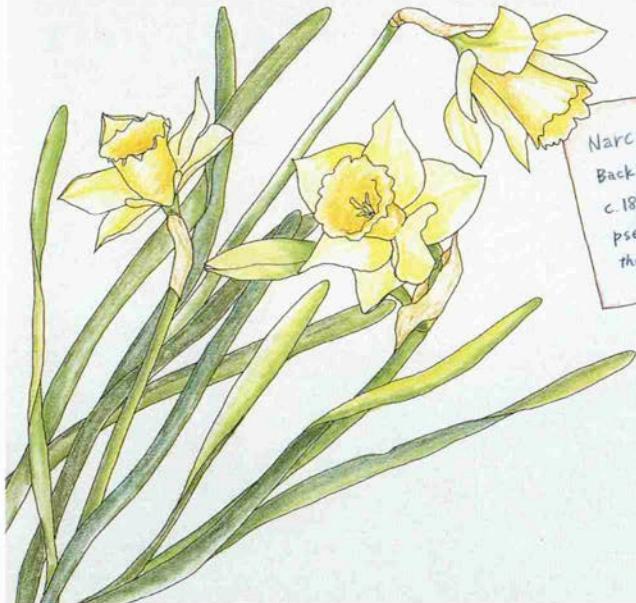
TEL 078-242-2467 月曜休

11:30A.M. ~ 2:00P.M. 5:00P.M. ~ 9:30P.M.

——クレンドサロンのお知らせ

〔木彫と卵の作品展〕4月9日(火)~15日(月)・にしむら珈琲御影店3F——

にしむら珈琲北野店2階の  
シェ・ラ・メールにしむらは  
会員制ではございません。



Narcissus 'Emperor' Raised by W.H.  
Backhouse of Wolsingham, Co. Durham  
c. 1865. A hybrid of *N. pseudonarcissus*  
*pseudonarcissus* and *N. bicolor* L. ヨウ  
the Pyrenees in France and Spain

K. MIKAMI

いくつになつても着みたい服のひとつに、  
花柄のフリスやスカートがある。  
何となるかが浮き立つ。  
優しい気持ちになれるから。  
鮮やかな輪の花。  
小花が可愛いリバティプリント。  
身につける日の日から、そんな花の服たち。  
人が花を愛するものは、  
見た目の美しさとか、いい香りとか、  
それだけの理由じゃなくて思う。  
花が心に響くそれが愛かななにか。  
そこに存するだけで、  
空気までわいわいしてやうな、  
不思議なワードが花はある。  
季節の花、両手いっぱい買って、  
部屋に飾る。  
そんな行為が身にひきしめる愛かな気持ち、  
大切にした。

ひと足早い春を感じたのに、  
自然の花はもうみんな  
いろんな花チーフに、だわづてみる。  
花病の服もうだし、  
カーネーションアートのツバ、  
毎日使うカーブやお皿にも  
花の絵柄を取り入れたり、  
身のまわりのいろんなところに、  
花のある生活

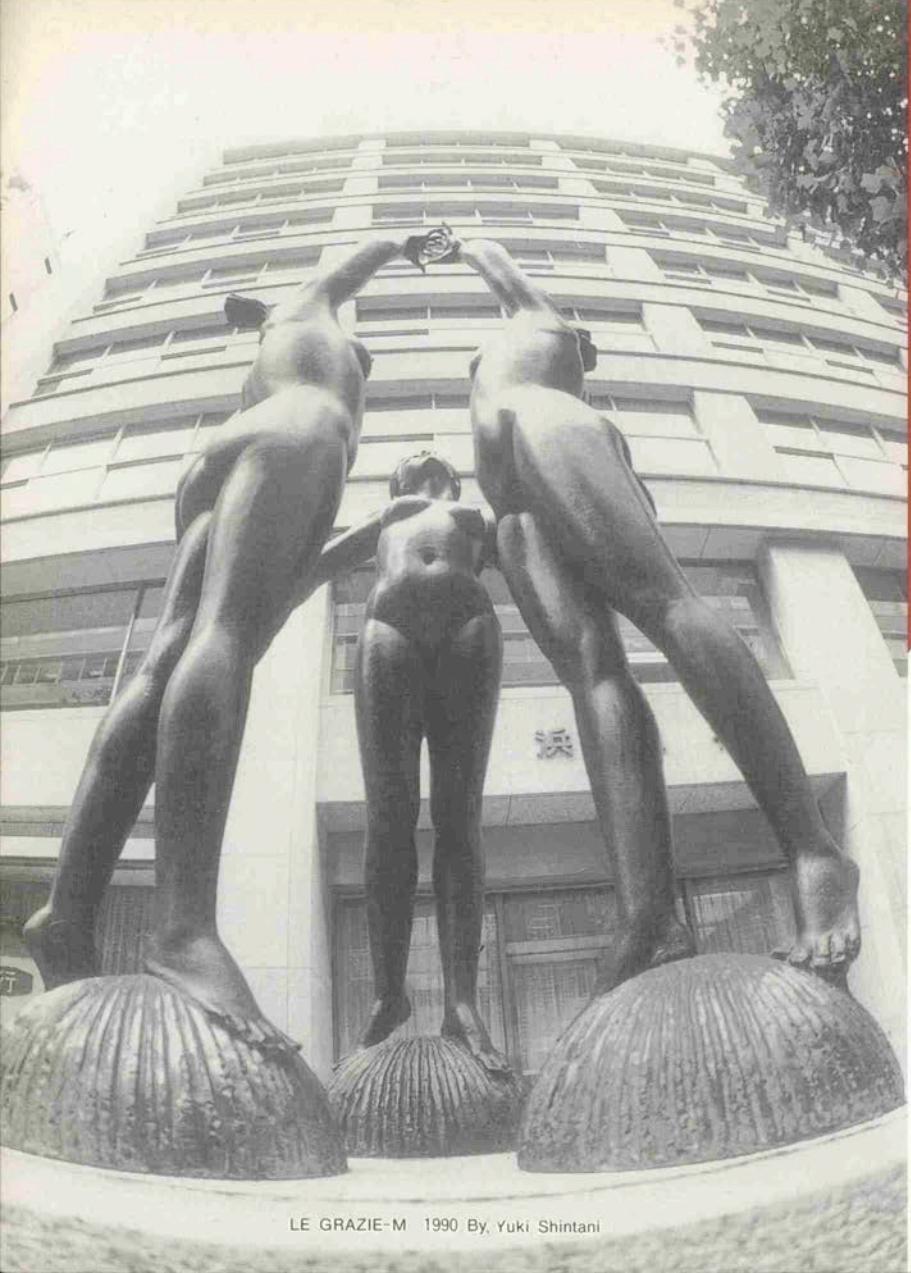
春はいよいよ、  
心に訪れてくれるはず。

メリーヒル	三愛
ゲルラン	キーンデッド・マス
ボンフカヤ	ミュー・エタム
シス	メイシングルース
ルーブル・フライデルサロン	アユージュ
ダイアナ	フーセット
ミッセル・クラン	クラブ・メッド
クロードレマ	ペネトン
タカノ	リーフィット
コ山岡	アトモスフェール
	ヴィッキー
	ハニーハウス
	イーストポーリー
	ラン・マスキン
	ベトシングラーズ
	キヤトセゼン
	フアリー
	ハウスクロービ
	サンス・クラフ
	ワコール
	リップスター
	トリップ
	ペトンプレイス
	ラ・ブル
	グリフ
	ミセラン
	ハイチゼン
	ジエル
	ロイス・レヨン
	ベネチンナー
	アラグレッ

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ、センター3F  
営業時間 am11:00~am8:00 PHONE 078-332-1698

第3月曜・定休日



これは神戸を愛する人々の雑誌です  
あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の心の手帖です

## 3月号目次●1991・359

- 表紙／(故) 小磯良平  
セカンドカバー／西村 功  
11 第1回神戸っ子賞受賞者発表  
12 コウベスマップ／日仏友好のモニュメント愛称決定  
13 第20回ブルーメール賞部門別受賞者発表  
文学部門／夏巳ゆらこ／音楽部門／大前哲  
美術部門／田中昇／ファッション部門／柴田音吉  
舞台芸術部門／貞松浜田バレエ団  
18 アートインタビュー／アンソニー・クラウス  
20 神戸の名木／〈白川堂東・石挽きかや〉写真・小林政夫  
31 私の意見／米花忍  
32 第20回ブルーメール賞・神戸っ子賞発表  
34 30周年記念エッセイ／文・陳舜臣／絵・中西勝  
36 連載エッセイ／文・三枝和子／絵・元永定正  
38 ドラシベラト吹きながらブラジル一人歩き／右近雅夫  
40 地域文化論／水谷頼介  
42 第1回神戸っ子賞選考座談会／小笠原暁・石阪春生  
小泉康夫  
44 第20回ブルーメール賞選考座談会／選考委員  
文学部門／杜山悠・田麻新・河内厚郎  
音楽部門／出谷啓・小石忠男・柴田仁  
美術部門／赤根和生・増田洋・伊藤誠・高橋享  
ファッショントン部門／福富芳美・藤本ハルミ  
中島正義・小泉美喜子  
舞台芸術部門／佐野達哉・名生昭雄・岡田美代  
特集／旧居留地ルネッサンス基調講演／坂本勝比古  
58 特集／旧居留地ルネッサンス／水谷頼介  
61 特集／旧居留地ルネッサンスシンボジウム  
コーディネーター／水谷頼介  
パネル／野澤太一郎・長澤昭・杉山知子・武田則明  
大海一雄・小泉美喜子  
72 ohカラスカラ座談会／酒井准夫・杜けやき・一路真輝  
76 ファッションスポット  
83 神戸っ子30周年記念グラビヤ／ボクはコウベ／コ  
カメラ・竹崎謙司  
86 神戸のお嬢さん／大伴みやこ・鈴木まゆみ  
105 兵庫VAL K／丹波年輪の里・マンガ・高橋孟  
108 ネオモーダメルヘン／篠原順子  
117 コーヒーブレイク  
118 動物園飼育日記／ゾウの動物史(12)／篠井一成  
122 プロフェッサーPの研究室／岡田 淳  
130 話題のひろば／①兵庫大仏開眼100日前／②神戸文学賞  
受賞式  
132 神戸トピックス  
134 神戸を福祉の町に／橋本 明  
136 有馬威時記 139 K.F.Sニュース  
140 神戸百店会だより  
142 モダンカルチャー  
144 シネマ試写室／シェントラーリング・スカイ・淀川長治  
146 びっといん  
148 ポケットジャーナル 151 神戸っ子俱乐部会員情報  
152 ルポルタージュ／神戸／ひめがく・キャンバstrand  
文・有井亮  
156 連載小説「忍き」作・刀彌喜美子 カット・南和好  
161 小磯良平名作表紙絵シリーズ(3)／金井元彦  
178 新連載エッセイ「北野物語」文・宮本豊子  
写真・中村年延  
180 海・船・港／ぼうや丸  
目次作品／新谷千秋  
カメラ・米田定蔵・池田年夫・松原卓也



ママといつしょに



しちり しづか  
赤ちゃん：七利 静香 ちゃん (平成2年12月13日)

ママ：真佐子さん  
パパより「何事があっても力強く乗り切れる人間に！」  
ママより「スケール大きく、健康で皆から好かれ、幸  
の人生を歩んではほしい！」

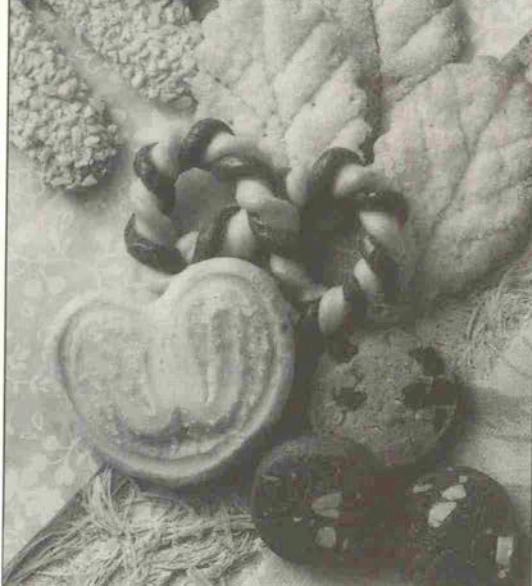
## ★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15  
☎575-1024(病室 ☎576-9639)  
市バス上沢4停南スグ

## White Day

Freundschaft ist Liebe mit Verstand.



言葉より、もっと上手に伝えたい。  
ユーハイムのビスケット。

一枚一枚を大切に焼き上げた  
ビスケットやパイの数々。  
バレンタインのお返しに 心を込めて贈って下さい。

**Juckerheim's**  
Für große und kleine Feinschmecker  
Naha - Frankfurt am Main  
seit 1882

さそいあって、春



角田由美さん

▲ジャケット ￥39,800  
スカート ￥22,000

植村真美さん

▲ジャケット ￥42,000  
パンツ ￥25,000  
スカーフ ￥19,800

前川泰子さん

GIO SPORT  
DOLCE MAC 2F

▲ブラウス ￥35,000  
キュロットスカート ￥35,000

 **MAC**  
SINCE 1895 KOBE

HEAD OFFICE 7F NEW CENTER 1-6-22 / SANNO MIYA-CHO CHUO-KU KOBE CITY 078-392-1651

SANNO MIYA MAC

SANNO MIYA CENTER-GAI 1 078-391-0895

THE BLAZER SHOP MAC

TOR-ROAD 078-391-0896

DOLCE MAC

SANNO MIYA CENTER-GAI 2 078-332-0141

FESTA MAC

HIMEJI FESTA 2F 0792-89-4738

BENETTON MAC

HIMEJI FESTA 3F 0792-22-1333

FUJIIDAIMARU MAC

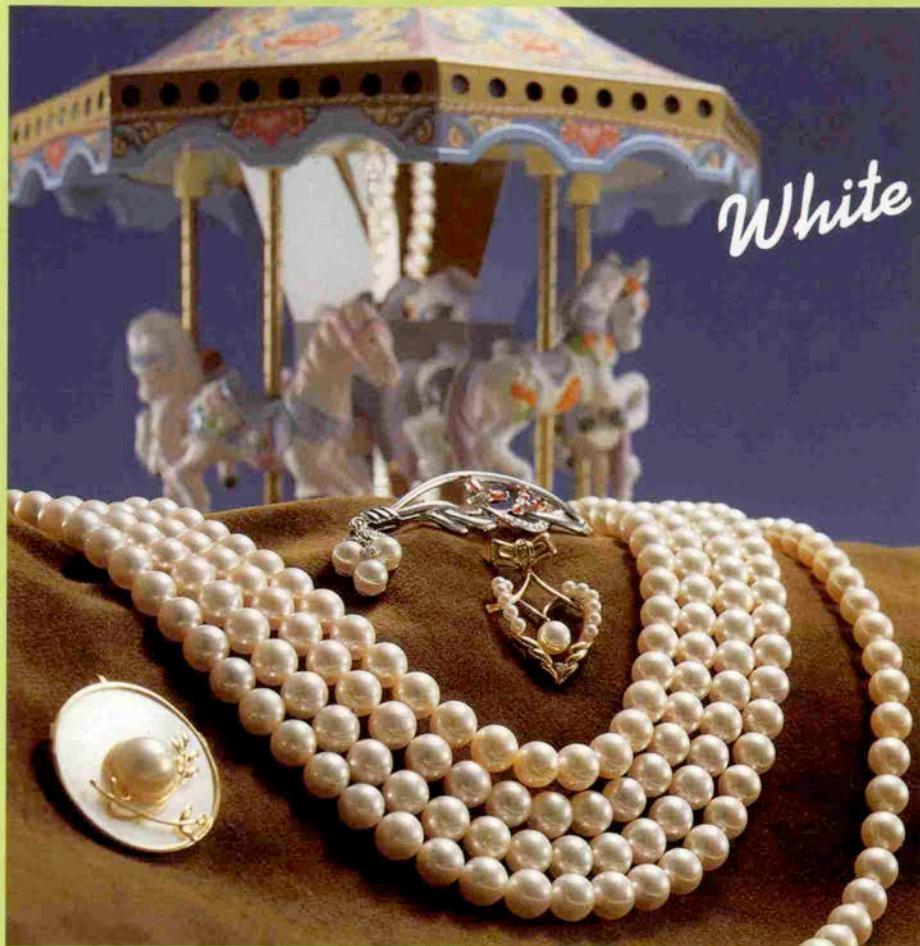
KYOTO FUJIIDAIMARU 2F 075-211-0857

SUNVIOLA MAC

TAKARAZUKA SUNVIOLA 3F 0797-71-4830

PLENTY MAC

SEISIN PLENTY 2F 078-992-0088



一人でまわるメリーゴーランド  
ステキなプレゼントを贈ります。

**MORI**  
**Pearls**  
Co., Ltd.

森真珠株式会社

神戸市中央区二宮町1丁目4-15  
本社 (078)241-2125㈹  
2階ショールーム (078)222-5881㈹  
(年中無休) 駐車場有り

3月20日(水)~27日(水)

クリアランスセール 2F ショールーム  
お値打ち品を取り揃えております。  
皆様のお越しをお待ちしております。

□私の意見

# 交流と創造

「神戸つ子」

三〇年に想う  
米花 稔

（神戸大学名誉教授）



二一世紀を前にしてよくとりあげられるキーワードの中で、交流と創造という言葉は、どの場合でもひとつの位置をもつてゐるようだ。そして「神戸つ子」三〇周年をいま想うと、早くよりこの言葉が底流になって歩んできたと思えてくるのである。

「継続することは創造すること」とは聞き覚えの言葉であるが、この三〇年を思つてその感を深くする。昭和三〇年代半ば、日本は中進国で先進諸国を目指し貿易自由化に努め、やがて高度成長、環境問題、二度のオイルショックによく耐えて、世界の中の日本といわれるようになるや、東西の壁の撤去と平和への期待、またたく間もなく湾岸戦争などの世界の激動下いまわが国は国際的責任と貢献が問われている。国際港都神戸はそれらの影響を直接にうけつゝ、三〇年前には全くみられなかつたポートアイランド、六甲アイランドを前にし、六甲背山には学園都市からスポーツ活動まで多様な展開である。このような直接間接の環境変化の三〇年を、タウン誌として成長しつづけるには、地道な創造が基盤にあつたはずである。

その創造は交流によつて触発せられることが多い。昨年翻訳出版されたアメリカ再生のためのMITの調査「Made in America」のなかでも「協調と個人主義の混和」がひとつの条件として提示されている。交流が基盤といってよい。八年程前、筆者のかかわる協会で、若い人々の検討結果を、当時「来るべきは交流社会」としたのである。まさしく「神戸つ子」は誌上はもちろんそれによかわる諸行事において、当初から試みてきただのは「交流」でなかつたであろうか。いま情報社会といいネットワーク社会といわれるが、まさしく各分野での交流について、それを容易にする仕掛けと裏方が求められている時代であるといえよう。

「神戸つ子」三〇年に「私の意見」を求められて、相互にかかわる「交流」と「創造」の役割をお祝いの言葉としたいのである。

★月刊神戸つ子30周年記念文化賞／第20回受賞者発表

# ブルー・メール賞

副賞各20万円

新谷秀紀制作

海の女神ブロンズ像

神戸の新鮮なイメージ創りを続けてきました月刊神戸つ子は、この3月号で創刊30周年を迎えました。これもひとえに皆様方のあたたかいご支援の賜と、厚く御礼申し上げます。

小説は創刊10周年を機に、神戸の文化を推進するために文化賞「ブルー・メール（青い海）賞」を設定いたしました。本年、第20回を迎え、各部門別に選考会を開き、左記5名の方に賞をお送りすることになりました。副賞には地元企業のご協力により各部門の受賞者に賞金20万円と記念品（彫刻家・新谷秀紀氏による海の女神のブロンズ像）が授与できることを心から感謝いたします。

これからも地域社会の中から世界に通じる文化を育むべく、努力精進してまいりたいと存じます。今後ともご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

△授賞式は4月4日（木）午後6時からポートピアホテル・大輪田の間で行います▽

□文学部門 委員 田山 悠・河内 厚郎・田嶋 新  
△選考▽



夏巳ゆらこ

△作家▽

□音楽部門 委員 大前 哲  
△選考▽

小石 忠男・柴田 仁・出谷 啓  
△作曲家▽

△田嶋 新▽

□美術部門 委員 田中 昇  
△彫刻家▽

赤根 和生・増田 洋・伊藤 誠・高橋 享  
△選考▽



大前 哲

大前哲はやはり国際的に評価される、兵庫県在住の中堅作曲家である。昨年10月31日に行なわれた「北野徹打楽器リサイタル」に於ける、新作「モノマー」は、大前のアイデアの集大成であり、傑作として評価された。

△出谷 啓▽

△高橋 享▽

田中 昇  
△彫刻家▽

△選考▽

赤根 和生▽

増田 洋  
△伊藤 誠▽

△高橋 享▽

田中 昇  
△増田 洋▽

画家にスペインの名手がいるように、彫刻家に研磨機の名手がいる。手の延長として研磨機を自在に操り、自らを石へ移していく。その展開は詩に変化した石、石に変化した詩の世界に他ならない。詩人の名は、田中昇である。

△彫刻家▽

△増田 洋▽

△高橋 享▽



田中 昇

△彫刻家▽

△増田 洋▽



□舞台芸術部門

佐野 淋箕・名生 昭雄・岡田 美代

「白鳥」「くるみ割り」というバレエの古典を、関西フィルの演奏で、みごとなアンサンブルの美を見せてくれました。神戸に定着して育ててきたこのバレエ団の貞松・浜田ご夫妻に拍手を贈ります。

貞松・浜田  
バレエ団

△バレエ団▽

△岡田 美代▽

□ファッショն部門

選考

福富 芳美・中島 正義・藤本ハルミ・小泉美喜子



30

# 神戸つ子賞

柴田 音吉

△柴田グループ代表▽

神戸紳士服の元祖ともいべき柴田音吉洋服店の四代目で、柴田音吉を襲名しハイカラ神戸の伝統を受け継いだ心意氣と、英國のドーメル社と共に伝統あるオーダーと新しい高級ブレタに挑み新風を起す。



淀川 長治

△映画評論家▽

小笠原 晓・石阪 春生・小泉 康夫

小笠原は創刊30周年を記念して「神戸つ子賞」を新たに設立いたしました。分野を問わず、毎年の活動の蓄積によって、神戸文化の振興とイメージアップに功労のある方に賞を贈をさせていただきます。副賞として、ブルーメール賞同様、地元企業のご協力により賞金20万円とブロンズ像が授与されます。

△小笠原 晓▽

★ブルーメール賞協賛企業

財団法人 井植記念会 株式会社 神戸風月堂 株式会社 ノーリツ  
株式会社 イズム 株式会社 シヤルレ バンドー化學株式会社  
株式会社 UCC上島珈琲本社 株式会社 神栄石野証券株式会社 株式会社 森真  
株式会社 エルアイシー 株式会社 角南商事株式会社 株式会社 山勝真  
株式会社 大月真珠 株式会社 そごう神戸店 株式会社 ユーハイム  
株式会社 オールスタイル 株式会社 大丸神戸店 株式会社 ワーランド  
株式会社 神戸地下街株式会社 田崎真珠株式会社 日本たばこ産業株式会社  
株式会社 木下真珠株式会社 田崎真珠株式会社  
神戸地下街株式会社 日本たばこ産業株式会社

△社名50音順▽